

地域の人のおもいがアートとつながる

備前福岡 ART 小路 2017・備前福岡の大都市

11月23～26日、仲崎邸（長船町福岡）で「備前福岡 ART 小路 2017」が開催されました。

アーティスト5人が地域で活躍する人物をそれぞれの作品で表現し、まちの魅力をアートを通じて引き出そうと、備前福岡 ART 小路実行委員会が企画（今回で4回目）。会場では、書道や映像などを組み合わせた作品が披露され、来場者は足を止めて見入っていました。

また、11月26日には、備前福岡の市場小路一帯で恒例の「備前福岡の大都市」が開催されました。妙興寺から延びる通りなどで住民団体らが郷土料理や特産品などを販売し、朝からたくさんの買い物客でにぎわいました。



ファッションショー形式の帯締めライブ（左上）／名刀太鼓の演奏に合わせての書道パフォーマンス（左下）／たくさんの人でにぎわった「備前福岡の大都市」（右）

戦 没者に鎮魂の祈り

瀬戸内市戦没者追悼式



献花し、戦没者に鎮魂の祈りをささげる武久市長（写真左下）

11月10日、ゆめトピア長船で戦没者追悼式が行われました。式典には、明治維新以降、太平洋戦争などで犠牲になった戦没者1378柱の遺族の皆さんなど、約200人が参列しました。

国歌斉唱、黙とうに続き、武久頭也市長が「戦没者の皆様がかげがえのない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく、未来へと語り継ぎ、希望に満ちあふれ、健康で心豊かな『人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内』を目指す」と式辞を述べました。

その後、来賓や遺族など参列者の皆さんは、祭壇の前に献花を行い、戦没者に鎮魂の祈りをささげました。

い つまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

11月6日に満100歳を迎えた正富敦子さん（邑久町本庄）の長寿のお祝いに、武久頭也市長らが9日に自宅を訪問し、お祝い状などを贈呈しました。

若い頃から詩吟が得意な正富さん、長寿の秘訣を尋ねられると、「元気な体に産んでくれた両親に感謝です」とにっこり。ご主人を戦争で亡くした後は、家の農業を手伝いながら1人娘を育て、70歳を過ぎるまで農作業に励んでおられました。現在は3世代4人暮らしで、自宅で穏やかに過ごしています。

正富さん、これからもますますお元気で過ごしてください。



お祝い状を受け取る正富さん（写真中央）



My Town Topics

まちの話題

問 秘書広報課：☎0869-24-7095

日 頃の活動の成果を披露

瀬戸内市文化祭・備前長船菊花展

瀬戸内市文化祭が、10・11月に牛窓町・中央（邑久）・長船町公民館で開催されました。

それぞれの会場には、たくさんの来場者が訪れ、練習を重ねた公民館グループ会員によるステージ発表や、丁寧に作りこまれた展示作品などを見て回りました。

また、長船町公民館で開催された第31回備前長船菊花展では、市内外の菊づくり講座受講生や愛好家の皆さんが育てた菊が展示され、来場者を魅了しました。



ゆったりとした動きで太極拳24式を披露した気孔・健康太極拳の皆さん（中央公民館）（左上）／来場者の目を楽しませたカラフルなパッチワーク（中央公民館）（右上）／押し花、俳句、絵画などの作品を展示した市民創作展（牛窓町公民館）（右下）



見事な咲きぶりで来場者を魅了した備前長船菊花展（長船町公民館）（左）／華やかな衣装でフラダンスを踊ったフラおさふねの皆さん（長船町公民館）（中）／息の合った踊りを披露した千手銭太鼓やまびこの皆さん（牛窓町公民館）（右）

防 災への意識を高める

せとうち防災リーダー研修会



三角巾を使用した応急法や避難所運営についての講義もありました



包装食袋に米を詰める参加者

消防本部で12月9日、自主防災組織の結成、活動活性化の中心を担う防災リーダーを育成するため、「せとうち防災リーダー研修会」が行われました。

日本赤十字社岡山県支部と岡山地方気象台から講師を招き、自主防災組織のリーダー・役員、防災に関心がある人など約80人が、災害発生時の対応などについて学びました。

また、災害発生時の炊き出しの実習もあり、参加者は包装食袋（米と水の分量の目盛りが入っている）に米と水を入れて、非常用のご飯をつくりました。